

# 熊

# 野古道センターって どんなところ？

熊野古道センターへ  
行ってみたくなる!?

そんな情報を発信します!

「良い香りがしますね」「すごく良いにおい」と熊野古道センターの来館者が開口一番に発する言葉です。それもそのはず、熊野古道センターは、この地域で産出される「尾鷲ヒノキ」を約6,500本使用して建てられているからです。平成19年2月に開館して5年以上経つ今もなお、ヒノキから発する特有の香りが大空間を満たしています。

さて今回は、参詣道熊野古道に関する情報発信をはじめ、様々な催し物が開催される熊野古道センターの紹介をさせていただきます。



2004年に、日本で12番目の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が登録されたのを機に、参詣道「熊野古道」とその周辺地域の自然・文化・歴史・産業などを紹介するビジターセンターとして熊野古道センターはオープンしました。当センターは、熊野古道の歴史についての資料や、熊野信仰

を描写した那智参詣曼陀羅図などを展示する展示棟、各種イベント実施や熊野古道と周辺地域に関する情報が得られる交流棟、熊野古道に関する資料を閲覧できる図書室と特別展示室を兼ねた研究収蔵棟の3つの大きな建物からなります。建物を取り巻く広大な敷地には、ウバメガシ、ホルトノキ、ヤマモモなどの地域で見られる樹木が植えられ、四季折々の花を咲かせます。

また、建物の正面には尾鷲湾を一望できる芝生広場があり、遠足に訪れた小学生や地域の盆踊り会場など、多くの人に利用していただける多目的広場となっています。館内では、地域の木材を使用したものづくり体験や、地域の食材を使用した料理教室など、子どもから大人まで学ぶことができる様々な体験学習がおこなわれるのも魅力です。

これから熊野古道を歩いてみようと考えている人、熊野古道に関する知識を高めたい人、新たな発見がきっとあるはずです。近くにお越しの際は、ぜひ気軽にお立ち寄りください。





熊野古道とその周辺にある“自然”や“人の暮らし”など、写真を通じて三重県東紀州地域の様々な魅力を再発見するためのフォトコンテストです。

昨年度に引き続き、Lサイズまたは2Lサイズで気軽に応募していただくことのできる“お気軽”部門を設けております。今回のテーマは“私だけの東紀州”です。



平成23年度 お気軽部門最優秀賞  
岩橋久雄氏「絶景よ」



旅の途中や暮らしの中で見つけた「自分だけのもの」にしておくにはもったいない! というような写真をお待ちしています。

平成23年度 となつておき部門最優秀賞  
杉本光朗氏「七里御浜に響く」

応募テーマ

となつておき部門  
「東紀州の四季」

風景・祭り・風物詩などを通して、三重県東紀州の魅力表現した写真

\*応募は全て、東紀州地域内(三重県紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町)の被写体を撮影した未発表の作品に限ります。  
\*詳細な応募規定、応募票の入手は、熊野古道センターへお問合せいただくか、センターHPを御覧ください。

お気軽部門  
「私だけの東紀州」

三重県東紀州の風景や人の暮らしの中で、思わず人に見せたいくなるようなお気に入りの写真

審査委員長

となつておき部門 竹内敏信氏 (社団法人日本写真家協会会員  
熊野古道写真学校長)

お気軽部門 主催者が委託した審査委員

締切

平成24年  
12月17日(月) 当日必着

賞

- |   |  |
|---|--|
| <p>となつておき部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 最優秀賞 ×1点 賞金5万円</li> <li>● 優秀賞 ×2点 賞金2万円</li> <li>● 入選 ×多数 記念品</li> </ul> | <p>お気軽部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 最優秀賞 ×1点 東紀州のお魚詰合せ (1万円相当)</li> <li>● 優秀賞 ×2点 記念品</li> </ul> |
|---|--|

応募先・問合先

三重県立熊野古道センター フォトコンテスト係  
〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4

TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667  
Mail info@kumanokodocenter.com  
HP http://www.kumanokodocenter.com/

東紀州「うまいスイーツ」紹介  
九鬼水軍虎の巻



秋といえば...読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋などさまざまですが、なんとといって秋といえば、食欲の秋でしょう。

今回は、尾鷲市九鬼町の名物でもある「九鬼水軍虎の巻」をご紹介します。

海に面した九鬼の町は、鳥羽城主の九鬼嘉隆が率いた九鬼水軍発祥の地でもあります。

お菓子につけられた名「虎の巻」は、九鬼水軍の戦いの秘伝を記した巻物に似せて作られたからとされています。地元の人々愛してやまない「虎の巻」。生地は、ふんわりとしたカスタード、そこに濃厚でモチリとしたこし餡を巻いたもの。甘さを抑えて、生地と餡の絶妙なバランスが最高!

こし餡だけでなく、カスタードクリームを巻いたものもあります。

この秋、東紀州のうまいスイーツ是非味わってみてください!

錦花堂本舗  
☎0597-29-2007

和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

今年度、「参詣道修復活動」道普請に参加される企業や一般の方が増えています。昨年度の同じ時期(4月~7月)と比べて、参加者数も2.4倍に増加しています。一度道普請を体験した方が、「世界遺産の保全」を理解され、再び道普請に参加し、継続的な取り組みをしていただくことが多くなっています。最近では、三重県をはじめ中京地域の方々から、熊野参詣道や道普請についてお問合せをいただくことも多くなっています。

秋に入り、暑さも和らぎ、野外での活動が心地よい季節になります。道普請ウォーク(古道ウォークと道普請で3時間程度)のご希望やお問合せは和歌山県世界遺産センター(0735-42-1044)で承ります。

また、和歌山県では、世界遺産条約採択40周年記念事業として、11月11日(日)に高野山大学で記念シンポジウムを開催いたします。参加ご希望の方は和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課(073-441-3740)までお問合せ下さい。

熊野古道 中辺路  
環境保全ウォーク

毎年多くの方に参加いただいています、熊野古道ウォークと道普請を行う環境保全活動です。

- 日 時: 平成24年10月13日(土)
- 場 所: 中辺路(発心門王子~熊野本宮大社まで)
- 募集人数: 350名予定
- お問合せ: 和歌山県商工観光労働部観光振興課  
電話: 073-441-2424



世界遺産条約採択  
40周年記念  
国際シンポジウム  
in高野山

テーマ 世界遺産の保全と継承  
~素晴らしい世界遺産を次世代へ~

- 日 時: 平成24年11月11日(日) 12時30分入場
- 場 所: 高野山大学 松下講堂 黎明館  
和歌山県伊都郡高野町高野山385

- 内 容: 基調講演/アルフレッド・コンティ氏(イコモス副会長)  
特別講演/村上 保壽氏(総本山金剛峰寺執行)  
パネルディスカッション他
- 募集定員: 300名(事前予約が必要)
- 共 催: 文化庁・和歌山県・和歌山県世界遺産センター・  
高野町教育委員会
- お問合せ: 和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課  
電話: 073-441-3740



# Event Info.

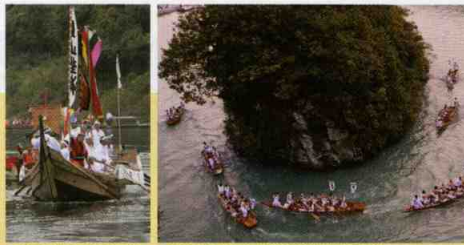
## 企画展

### 「シリーズ熊野のお祭り 紀宝町と御船祭り」

主催/三重県立熊野古道センター  
共催/紀宝町 協力/熊野川体感塾

三重県立熊野古道センターでは、三重県東紀州地域各市町に伝わる“お祭り”“伝統行事”を紹介する企画展「シリーズ 熊野のお祭り」を展開しています。

今回の企画展では、紀宝町と熊野速玉大社秋の例大祭「御船祭り」との密接な関わりに注目し、郷土の民俗行事の深みを伝える展示とします。



御船祭(選手船アタカイウチ) 御船祭り早船競漕(熊野川の秋祭り(撮影 南青年))

期間:平成24年9月22日(土・祝)～11月4日(日)  
午前9時～午後5時 会期中無休

入場料:無料  
場所:企画展示室

## 企画展

### 「熊野の食文化」(後巻)

熊野の風土や歴史は、そこで生活する人々の食文化を形成しており、地域ごとに生活や習慣が異なるように、食文化もさまざまです。自然からの恵みを、どのように活用してきたのかの食の文化を紹介いたします。



期間:平成24年11月17日(土)～平成25年1月14日(月・祝)  
午前9時～午後5時  
\*12月31日(月)、1月1日(火・祝)は休館

入場料:無料  
場所:企画展示室

## 付属企画 1

### 「ハリハリ踊りと熊野水軍太鼓」

熊野速玉大社秋の例大祭「御船祭り」の「諸手船」船上で奉納される「ハリハリ踊り」の実演と、「熊野水軍太鼓」の演奏を楽しんでいただきます。悠久の歴史と勇壮な太鼓のコラボレーションです。

日時:平成24年9月23日(日)午後2時～3時  
場所:三重県立熊野古道センター

## 付属企画 2

### 新しい古道の歩き方 「御船祭りを巡る～熊野川遊覧～」

川船にゆられて、熊野川の魅力を堪能していただけます。熊野川の自然と歴史と伝統に彩られた「御船祭り」をご覧ください。

日時:平成24年10月16日(火) 午前10時～午後5時頃  
参加料:5,000円  
定員:10名  
場所:熊野川下流域(三重県紀宝町・和歌山県新宮市)  
案内:熊野川体感塾  
※募集締切:10月9日午後5時まで。応募多数の場合は抽選となります。

## 同時開催

### リ・デザインする熊野～2011水災以後～ 辻井隆昭写真展

昨年9月、辻井氏が熊野本宮館で開催した写真展が明治22年以來の水災により流れました。この水災の所以と意味することを感じ取り、熊野は自ら那邊に向かって動き出したのかを現場の方々と考えたいと思います。

期間:平成24年9月22日(土・祝)～11月4日(日)  
会期中無休 午前10時～午後3時

入場料:無料  
場所:特別展示室

## 体験学習

### 12/9(日)「東紀州の四季を味わう料理教室～寿司三昧～」

東紀州の旬の食材や特産品を使った大人気の料理教室です。あなたも東紀州の味覚を味わってみませんか?

- ◇時間:午前10時～午後1時
- ◇参加料:2,000円
- ◇定員:24名(要申込) \*応募者多数の場合は抽選
- ◇場所:体験学習室
- ◇講師:村林新吾氏(相模高校食物調理科教師)
- ◇受付:11月9日(金) 午前9時～11月27日(火)午後5時まで



料理教室の様子

### 月別ひのきアート教室

地元の特産品である尾鷲ヒノキからできる魔法の素材・ひのきシートを使ってのものづくり教室です。

- ◇日時:9月30日(日)、10月28日(日) あかり \*連続講座です 11月18日(日) クリスマス飾り
- ◇参加料:各1,000円
- ◇定員:各10名(要申込)
- ◇場所:体験学習室
- ◇講師:NPO法人海虹路会員



すべて 午後1時～4時

### 毎週日曜日 あなたも木工作家! その場でできる木工教室

事前申込不要!!来館してその場で気軽に体験することのできる木工教室です。メニューは、お箸・しおりなどのひのきアート、木の動物・木のおもちゃづくりなど週替わりで開催します。

- ◇時間:午後1時～3時受付
- ◇参加料:200円～1,500円(申込不要)
- ◇場所:交流ロビー
- ◇講師:NPO法人海虹路会員、(週替わり) 川端一氏、大形弥生氏、畑中昇氏



## 講座・講演

### 9月2日(日) 講演:「紀伊の森と人の暮らし」

三重県立博物館館長である布谷知夫氏をお迎えし、熊野地域の森林の特徴とその自然を利用した暮らしの一端を、里山や生物多様性と絡めながらお話していただきます。

- ◇時間:開場/午後0時半、開演/午後1時
- ◇参加料:無料
- ◇定員:80名
- ◇場所:映像ホール
- ◇講師:布谷知夫氏(三重県立博物館館長)
- ◇主催:三重県立熊野古道センター



### 11月3日(日) 講座:フィールドワーク「熊野の動物たち①」

動物たちのフィールドサインやトンネルに棲むコウモリなどを観察します。

- ◇時間:午前10時～12時
- ◇参加料:300円
- ◇定員:20名
- ◇場所:旧国道42号線矢ノ川峠
- ◇講師:清水善吉氏(三重自然誌の会事務局)



### 12月8日(日) 講座:「熊野の動物たち②」

紀伊半島に生息する哺乳類や両生類を紹介し、地域の特性を考えます。

- ◇時間:午前10時～12時
- ◇参加料:200円
- ◇定員:20名
- ◇場所:熊野古道センター
- ◇講師:清水善吉氏(三重自然誌の会事務局)



## 交流イベント

### 9月22日(土・祝)

### 「弦楽四重奏とホルンによる～秋のクラシックコンサート～」

フリーゼン弦楽四重奏団&田中雅樹による演奏会を開催します。

新日本フィルハーモニー交響団所属のメンバーが中心の本格的なクラシックです。臨場感溢れる演奏をお楽しみください。

- ◇時間:開場/午後6時、開演/午後6時半
- ◇参加料:無料(整理券配布:8月22日午前9時～)
- ◇定員:150名(自由席)
- ◇場所:交流棟大ホール
- ◇出演:フリーゼン弦楽四重奏団、田中雅樹(ホルン)
- ◇主催:三重県立熊野古道センター



出演メンバー

\*写真・イラストはイメージです。

## 新しい古道の歩き方

### 11/17(土)「始神峠道で秋の星空さんぽ」

夜の熊野古道を歩きながら星空の美しさを体感します。この日は、しし座流星群がピークを迎える日です。運がよければ流れ星にも出会えるかも!

- ◇時間:午後6時～9時
- ◇定員:20名(要申込)
- ◇参加料:500円(資料、保険料、おやつ代を含む)
- ◇場所:紀北町三浦地区 熊野古道始神峠道及び、さくら広場
- ◇講師:出口隆久さん(紀北町教育委員会社会教育指導員)
- ◇持ち物:ヘッドライトまたは懐中電灯、温度調節できる衣服、歩きやすい服装、筆記用具





# 熊野古道からの 眺め

熊野古道から  
のがみ

24 通目

紀北町にはいくつもの秘瀑があります。町は大台ヶ原の南に面し、清流で名高い銚子川、その東に平行して往古川が尾鷲湾に流れ、源流部には落差一〇〇mを越す大瀑を懸けます。往古川上流の小木森谷には二段二〇〇m弱の小木森滝、その西に位置する真砂谷の三段一五〇m八町滝、いずれも一部が町から見る事ができます。銚子川にも東側に日本百名谷に選ばれ、台高山脈随一と折り紙つきの岩井谷にも一〇〇mほどの直瀑、銚子川本流の詰めにも黒滝の大滝を落下させ、その西の光谷右俣にある光滝と、もつとも西側に水瀑で有名な清五郎滝、いずれも一〇〇m級です。

わが町は滝の町であり、山家のあいででは裏大杉谷とよばれていて、谷が発達しているため沢登りが楽しめます。黒滝、光滝以外はいずれも右岸が登りやすいです。沢登りは谷の詰め、水が枯れてからの藪こぎがきついです。今はスタケが枯れ随分楽になりました。とはいえ、渓谷は周りで一番低い位置にあるため見通しが利きにくく、尾根歩きより難しいといわれています。



大台林道から的小木森滝

筆リレー



ひぐち よしなり  
樋口 義也さん  
(紀北町)  
熊野古道語り部  
友の会会員

次は紀宝町の  
川島 功さん

## 花尻 薫からの季節のたより No.24

## 「秋の七草の七番目は朝顔か桔梗か？」

冬まだ北風の冷たい頃、日溜りではセリやナズナが顔を出します。春の七草は野菜の少ない初春に食用として、食卓を飾ります。秋の七草は、花を眺めて鑑賞するのが目的で選ばれました。秋の七草を最初に詠んだのは「万葉集」で有名な「山上憶良」が「萩が花・尾花(ススキを指す)・葛花・なでしこの花・おみなえし・藤袴・朝貌の花」と七種類の花を詠んでいます。人によっては、最後の朝貌(アサガホ)は朝顔だという人や、いや違う桔梗だ、と様々です。このアサガホは今の何に当たるかについては、ムクゲ・アサガオ・ヒルガオ・キキョウなどいろいろな説があります。日本で最も古い漢和字書「新選字鏡(892年~900年)」には桔梗・阿佐加保...とあり、アサガホの名前で記されていて、アサガホは

日本にある野原の花で、朝咲く美しい花だと書かれています。ムクゲや現在の朝顔は万葉集が発行されてから、後の時代に外国から渡ってきた植物です。朝顔は熱帯アジアの生まれで、日本へは平安時代に渡ってきた新しい花です。よって、秋の七草のアサガホ(阿佐加保・朝貌)は桔梗です。桔梗はかつて阿佐加保や朝貌と呼ばれていたのです。



キキョウ

**センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!**

**お母ちゃんのランチバイキング**  
尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00  
料 金: 中学生以上 ...1,200円  
子供 ...700円  
乳幼児 ...無料  
60歳以上 ...1,000円

**みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」**  
深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もポカポカです。

開館時間: 10:00~21:00  
入 浴 料: 一般 ...600円  
65歳以上 ...500円  
4歳~小学生 ...300円  
4歳未満 ...無料

**お風呂あがりは、カフェでまったり♪**

営業時間: 9:00~21:00  
(ラストオーダー20:30)

**●お車でお越しの方は...**  
国道42号線で尾鷲市内一矢ノ浜南交差点を海側へ曲がる一突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)

**●電車でお越しの方は...**  
■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」下車  
■松阪駅  
→南紀特急バス「熊野古道センター」終点下車(約2時間)

**★熊野古道センターニュースレター★  
“熊野古道センターからのがみ  
2012年秋号”**

- 発行日: 2012年9月1日(季刊)
- 編集・発行: 三重県立熊野古道センター  
(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当: 東
- 連絡先:  
〒519-3625 三重県尾鷲市向井字村島12-4  
TEL 0597-25-2666  
FAX 0597-25-2667  
Mail info@kumanokodocenter.com  
HP http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間: 午前9時~午後5時
- 入場料: 無料
- 休館日: 12月31日、1月1日  
(その他メンテナンス時休館)

60000120901MH